和痛分娩について　2019.7.21

1）陣痛の痛みには個人差があります。小手術ですら麻酔をするのに、それより何倍も痛い分娩に対し、痛みを和らげる方法をとらないなんて非合理的だ。
2）赤ちゃんに全身麻酔のように抑制がかかる（影響が出る）のはご免だが、局所的な麻酔等でほとんど影響がないなら、痛みを1/10位に軽減したい。
3）その他（心臓病あるためストレスのない分娩をして心機能を保持したい）
私は、上の目的で和痛分娩を希望し、以下のことを理解しました。

利点と欠点があること

利点	痛みが少ない	欠点	分娩第二期が延長する
	分娩進行が早い		完全な無痛では陣痛がわからない
	母体の疲労回復が早い		麻酔のトラブルが稀にある

分娩の時期について

計画的	子宮口が成熟したら入院日を決める	自然	陣痛、破水、出血、などで入院時は医師が他の手術などで実施不可能な事がありますが稀です。

方法について

硬膜外麻酔　　その他

保険適用外・自費であること

和痛分娩の依頼書

医師　長坂正仁　殿　　年　　月　　日

私は、和痛分娩学級の講義を受けて、その内容及び、それによる利点と欠点について十分な説明を受け質問する機会をもらいました。家族ともども麻酔分娩を依頼します。

住所

氏名　　㊞

家族氏名　　㊞　　確認　　長坂正仁　㊞